

令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」

研究発表会「愛知大会」実行委員会

令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会を、下記により開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます（CPDに関するお問い合わせ先：砂防学会事務局 TEL：03-3222-0747）。

I. 令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」実施要領

1. 期 日 令和2年5月19日(火)～21日(木)
2. 会 場 (総会・研究発表会、意見交換会)
愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL：052-571-6131 FAX：052-571-6132
3. 日 程 下記日程表のとおり（※予定であり今後変更することがあります）
※特別講演，企画セッション，行政展示および企業展示については一般公開となります。

令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」スケジュール案

	8:30	9:00	9:30	10:00	11:45	13:00	14:00	14:30	15:30	17:30	18:00	18:30	20:30
5月19日(火)	受付	総会	研究発表会開会表彰特別講演	昼休憩	企画セッション	コアタイム	口頭発表セッション			休憩	意見交換会		
		ポスターセッション・企業展示・行政展示											
5月20日(水)	受付	口頭発表セッション	昼休憩	コアタイム	口頭発表セッション								
		ポスターセッション・企業展示・行政展示											
5月21日(木)		現地研修会（2コースから選択）											

4. 特別講演（一般公開）

特別講演者は、神戸市人と未来防災センター教授の室崎益輝氏を予定しています。演題につきましては、「砂防学会誌」第72巻第6号でご案内いたします。

5. 企画セッション（一般公開）

企画セッションのテーマは「河道閉塞が引き起こす災害とその対策」です。

コーディネーター：里深好文（立命館大学）

強い地震や豪雨によって河道沿いに大規模な崩壊が発生すると、時としてその崩土は河道上に停止し、水の流れをせき止めてしまう。このような地形（現象）を河道閉塞と呼んでいる。別名、天然ダムとも呼ばれる河道閉塞は、上流域に湛水による大規模な浸水被害を生じさせるだけでなく、その決壊に伴って発生する洪水・土石流によって下流域に甚大な氾濫被害を生じさせる可能性がある。我が国における近年の事例を見てみると、2004年中越地震による新潟県山古志村の例、2008年岩手・

宮城内陸地震による岩手県一関市の例、2011年台風12号による和歌山県田辺市、奈良県五條市他の例、2017年九州北部豪雨による大分県日田市の例、2018年胆振東部地震による厚真川の例といったように、数年に一度程度発生していることが分かる。ここに示したような河道閉塞は規模が大きく、地震や豪雨の後にもその存在が確認されているが、小規模なものは確認される以前に決壊してその痕跡を認めることすら難しい場合もあるので、実際の河道閉塞の発生率はかなり高いといえよう。一方で河道閉塞の発生メカニズムや決壊プロセスについては未だ不明な点が多く残されており、緊急対策や長期的な対策方法もすでに確立できたとは言えないように思われる。

本セッションではこれまでの河道閉塞による災害の事例やその対策を整理し、決壊のメカニズムやそれに伴う土砂・洪水氾濫の予測方法および効果的な対策法について議論する。

なお、企画セッションは一般公開とします。

6. 現地研修会

名古屋駅出発・解散予定の1日で東海地方の歴史的砂防施設、土石流対策施設などを巡る2コースを計画しています。

- Aコース 鈴鹿・養老山脈周辺の砂防施設を見学するコース
定員 45名程度
- Bコース 焼き物のまち(瀬戸市・土岐市)周辺の砂防施設を見学するコース
定員 45名程度

7. 申込方法と参加費

研究発表会、現地研修会、意見交換会等の参加申し込みにつきましては、学会ホームページの参加申込受付システム(WEB申込)により行います。概要集掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申し込みを行って下さい。詳細は「Ⅵ」をご覧ください。なお、「愛知大会」では会場に1歳以上の未就学児の一時保育室(無料)を設置予定です。詳細については、「Ⅵ」の〈一時保育について〉をご確認下さい。宿泊については各自でご手配をお願いします。

WEB申込期間(3月16日(月)(予定)~5月11日(月))

◎参加費(前納の場合)

- ・研究発表会参加費
 - ・一般会員 7,000円
 - ・一般非会員 10,000円
 - ・学生会員 3,500円
 - ・学生非会員 5,000円
- ・意見交換会費 6,000円
- ・現地研修会費(予定)
 - Aコース 5,000円
(昼食代1,000円を含む)
 - Bコース 5,000円
(昼食代1,000円を含む)

※現地研修会の募集定員、参加費は今後変更する可能性があります。

注:参加費は全額前納して下さい。なお、入金後に取消し等の返金はいたしません。

◎当日参加申込受付の場合

当日の参加申込みの受付は学会デスクにて研究発表会および意見交換会の参加のみ受け付けます。

当日料金

・研究発表会参加費

- ・一般会員 10,000円
- ・一般非会員 13,000円
- ・学生会員 5,000円
- ・学生非会員 6,500円
- ・意見交換会費 7,000円

8. 研究発表会「愛知大会」実行委員会

- 委員長 田中 隆文 名古屋大学准教授
- 委員 堤 大三 三重大学教授
- 〃 逢坂 興宏 静岡大学准教授
- 〃 今泉 文寿 静岡大学准教授
- 〃 沼本 晋也 三重大学准教授
- 〃 山川 陽祐 筑波大学助教
- 〃 島崎 誠 国土交通省中部地方整備局河川部総合土砂管理官
- 〃 中澤 敏雄 農林水産省林野庁中部森林管理局計画保全部治山課長
- (監事) 原 勝 愛知県建設局砂防課長
- 委員 村上 郁雄 愛知県農林基盤局林務部森林保全課長
- 〃 上田 直和 (一社)建設コンサルタンツ協会中部支部長
中日本建設コンサルタント(株)代表取締役社長
- 〃 今村 鐘年 (一社)全国測量設計業協会連合会中部地区協議会会長
中部復建(株)代表取締役社長
- 〃 牧村 直樹 玉野総合コンサルタント(株)代表取締役社長
- 〃 佐藤 敏明 東海支部副支部長 八千代エンジニアリング(株)専門部長
- 〃 杉浦 信男 砂防学会事務局長
- (監事) 湯川 典子 砂防学会女性の会・砂防学会東海支部企画班 アジア航測(株)

Ⅱ. 令和2年度砂防学会研究発表会要領

1. 発表セッション

発表方法は、口頭発表とポスター発表です。発表申込の時点で、口頭発表もしくはポスター発表を選択いただきますが、会場およびスケジュールの都合で発表形式の変更をお願いする場合があります。その判断は、実行委員会に一任願います。口頭発表セッションでは、一般セッションとテーマ別セッションを設けます。テーマ別セッションの課題は以下のとおりです。

【テーマ別セッション】

(1) 土石流中の微細土砂

本セッションの内容は、砂防学会研究助成(テーマ名:

構成則に基づく細粒土砂の液相化の評価手法に関する検討と数値計算への実装)の成果発表である。微細土砂が土石流内部で液相としての挙動を示すことで、固相の代表粒径と、間隙流体の見かけの密度の変化を通して土石流の流動特性が大きく変化することが指摘されている。このような見地から、本公募研究会は、①微細土砂の液相化を土石流の基本原理解である構成則の枠組みで捉え直し、②現在の知見からモデル化/数値計算に適用が可能な項目を整理した上で、③実際に数値計算を実施して実現象の再現性を検証する、ことを目的として実施された。研究会の成果を共有しつつ、大規模土石流や火山地域での土石流、土砂洪水氾濫の評価や予測にとって重要な課

題である微細土砂の問題を幅広く議論したい。

コーディネーター：堀田紀文（東京大学）

(2) 人口減少と高齢化の時代における今後の防災対策の方向性について

日本は、2008年をピークに人口減少に転じ、2045年に人口が約2割減少すると予測されるなど、既に大きな人口減少過程にある。特に都市部と中山間地域の格差がさらに拡大し、都市部に比べて、中山間地域は大幅な人口減少が見込まれる。これに伴い中山間地域は、高齢化率も大きく上昇して、これまでにない超高齢社会を迎えると推計されている。このような人口減少と高齢化により中山間地域では、地域コミュニティのスケールや空間分布、構造に変化をもたらす、経済活動の低迷、過疎化、限界集落の増加、集落の消滅などが予想される。さらに近年、気候変動の影響により豪雨が頻発、激甚化していることも影響して、土砂災害時の逃げ遅れによる人的被害の増加が懸念される。このため人口減少と高齢化が急激に進むと予想される地域に対しては、例えば土砂災害の危険度評価の精度を向上させる方策、土砂災害の危険性の認知度を向上させる方策、地域保全のための新たな協働のあり方、砂防・治山対策の効果的かつ効率的な進め方など、従来とは異なる新たな対応が必要となることも考えられる。このように今後深刻化する人口減少と高齢化に対応する土砂災害対策の現状と課題、今後の防災対策の方向性について防災行政を含め幅広く議論する。

コーディネーター：山田 孝（北海道大学）

(3) 砂防分野におけるIT技術の活用の現状と課題、今後の方向性について

近年、最先端のAI（人工知能）やIoT技術を活用した土砂災害の検知および予測精度向上に関する技術や、地形変化や土砂移動等の監視・観測に関する技術開発等が進められている。さらに、調査・測量から設計、施工、検査、維持管理、更新にいたる建設生産プロセスにICT（情報通信技術）等を活用する「i-construction」において、生産性を向上させるため、三次元データの活用が位置づけている。このような最先端の技術による土砂災害の検知技術等から、データ取得に係る計測技術(UAV等)、蓄積された観測データ等（ビッグデータ）の活用、ICT技術による施工管理まで、砂防分野におけるIT技術の活用の現状と課題、今後の方向性について幅広く議論する。

コーディネーター：杉本宏之（土木研究所）

(4) 土砂洪水氾濫による被害について

平成29年九州北部豪雨（筑後川支川赤谷川）や、平成30年7月豪雨（広島県呉市天応地区）等では、「土砂洪水氾濫」により広範囲に被害が発生した。この「土砂

洪水氾濫」は、土砂堆積による河床上昇により、土砂・洪水の氾濫が激化して甚大な被害となるもので、同様もしくは類似する災害は古くから発生しているが、気候変動による豪雨多発が懸念される中、今後はその発生頻度が高くなる可能性がある。この形態の災害では、土石流到達点より緩勾配区間、つまり土砂災害防止法による土砂災害警戒区域より下流での被害が主体なので、土砂災害警戒区域の設定手法による被害想定が難しい。そのため、災害事例の把握による知見の整理や、土砂移動シミュレーション等により、被害エリアや被害程度を適切に想定し、災害防止につなげることが課題となる。これらの課題と今後の対策について議論する。

コーディネーター：井浪沢道也（岩手大学）

2. 発表者の資格

発表者は、発表申込時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限り、グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です。なお、発表者とは、口頭発表では実際に会場において口頭で発表するもの（1名）を指し、ポスター発表ではコアタイムに実際に説明する者（代表者1名）を指します。原則として、発表者としての件数は口頭発表もしくはポスター発表のどちらか一件とします（発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません）。

3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害減災と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限り、

4. 発表方法

口頭発表は、発表会場に設置されたプロジェクターを用いて、会場に準備したパソコンにより行います。USBメモリにファイルを格納して持参して下さい。発表前に動作確認を行うようお願いいたします。会場に準備するパソコンのOSはWindows 10、ソフトはPower Point 2010、2013、2016を予定しています。フォントに関しては標準搭載されているものをご使用下さい。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」」(<https://jsece.or.jp>)に掲載します。

5. 発表申し込み

本大会の発表申し込みは、すべて（テーマ別セッションも含む）原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。原稿投稿システムには、砂防学会ホームページ「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」」(<https://jsece.or.jp>)からアクセスでき

ます。電子メールやはがきによる申し込みは受け付けませんので、ご注意ください。

発表申し込みの締切りは、すべて令和2年2月7日(金)です。

6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿もすべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式(2MB以下)に変換して投稿して下さい。ポスターセッションによる発表についても概要集掲載が必要です。

提出期限は、令和2年4月3日(金)(厳守)です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

7. 研究発表要領に関する問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学大学院 生物資源学研究科
堤 大三
Phone : 059-231-9509
e-mail : tsutsumi-daizo@bio.mie-u.ac.jp

Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷・配布は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

1. 原稿書体

原稿は原則としてMSワード等のワープロソフトで作成して下さい。

2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15mm、下25mm、左20mm、右10mmを確保して下さい。1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

3. 原稿枚数

2ページとします。1ページあるいは3ページ以上は受け付けません。

4. 題名および氏名

題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名(連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける)を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。1行あけて本文を書き始めて下さい。

5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って書いて下さい。

6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

7. 文字の割付

句読点、()、:、引用記号および1桁アラビア数字

には1マスをあて、アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。

章 1, 2, 3
節 1.1, 1.2, 1.3
節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

10. 図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。ただし、学会が概要集を印刷・販売する場合には、モノクロ印刷が標準となります。

11. 原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は、PDF化ソフト(例えば、Adobe Acrobat等)を用い、フォントを埋め込んだPDFファイル(2MB以下)を作成して下さい。原稿にはページ番号を入れなさい。なお、PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

12. 原稿作成要領に関する問い合わせ

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577
三重大学大学院 生物資源学研究科
堤 大三
Phone : 059-231-9509
e-mail : tsutsumi-daizo@bio.mie-u.ac.jp

IV. ポスターセッション展示

ポスター発表1件あたりのポスター掲示範囲の大きさは、幅90cm、高さ180cmを予定しています。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「令和2年度（公

社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」(<https://jsece.or.jp>)に掲載します。

V. 現地研修会

現地研修会は2コースあります。この機会にぜひご参加下さい。名古屋駅出発・解散予定の1日で東海地方の歴史的砂防施設、土石流対策施設などを巡る2コースを計画しています。

- ・Aコース 鈴鹿・養老山脈周辺の砂防施設を見学するコース
- ・Bコース 焼き物のまち（瀬戸市・土岐市）周辺の砂防施設を見学するコース

なお、申込状況により中止する場合がありますのであらかじめご了承下さい。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」」(<https://jsece.or.jp>)に掲載します。

VI. 令和2年度（公社）砂防学会研究発表会参加申し込みのご案内

1. 参加申し込み

参加・現地研修会・意見交換会等のお申し込みは、砂防学会ホームページから行って下さい（WEB申込）。WEB申込ページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も、WEB申込をして下さい。見積書、請求書はホームページから出力できるようにいたします。事務処理作業の軽減のため、クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい（やむを得ない理由がある場合に限り、当日現金での支払い、後払いも受け付けます。この場合、I.7に記した当日料金となります）。

領収書は学会にて入金を確認した後にホームページから出力できるようにいたします。受付期間は令和2年3月16日(月)(予定)～令和2年5月11日(月)までで、コンビニ決済ならびに銀行振込の入金期限は5月15日(金)です。

<一時保育について>

1歳以上の未就学児の一時保育（無料）の利用は5月19日(火)と20日(水)で、事前申し込みが必要です。一時保育の申込期限は4月17日(金)です。申し込み期限以降の

受付はできません。また、申込先着順で定員になり次第締め切らせて頂きますので、あらかじめご了承下さい。

一時保育に関する利用規定や申込書などは、事前申込者に対して別途ご連絡致します。

2. 申込締切日

令和2年5月11日(月)

3. 申し込み後の変更・取り消しについて

申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は、学会事務局までご連絡下さい。

参加費・意見交換会費・現地研修会費等は、入金後は返納しませんのでその旨ご了解下さい。

4. 個人情報の取り扱いについて

お送りいただきました個人情報については、連絡のために利用させていただくほか、申し込みいただいた「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「愛知大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

【申し込み・入金】

申込のステップ	内 容
①砂防学会ホームページ	http://www.jsece.or.jp/indexj.html 「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会愛知大会」のページに、申込専用ページへのリンクが掲載されます。
②お申し込み	入力フォーマットに従って直接入力して下さい。 ※送信後、自動返信で受け付け確認が送信されます。
③見積書・請求書	参加費・意見交換会費・現地研修会費の見積書および請求書はホームページから出力できます。
④参加費・意見交換会費・現地研修会費のお支払い	クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振込をご利用下さい。銀行振込をされる場合は振込手数料は申込者負担となります。

⑤領収書及び参加票	学会が入金を確認しましたら、ホームページから領収書および参加票（研究発表会、意見交換会、現地研修会）が出力できます。出力いただきました参加票は当日受付にご提示下さい。
⑥変更・取り消し	学会事務局まで連絡して下さい。 TEL：03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00 ※入金後の返納不可

参加申込期間は令和2年3月16日(月)(予定)～令和2年5月11日(月)です

◆お問い合わせ先

「令和2年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会」事務局
 住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階
 公益社団法人 砂防学会 事務局
 TEL 03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00
 FAX 03-3230-6759
 ホームページ <http://www.jsece.or.jp/indexj.html>
 E-mail: sabo274@abox3.so-net.ne.jp

